

神奈川県総合防災センター（厚木市）の視察

令和元年度の六会地区防災リーダー連絡会視察研修会は、1月22日（水）厚木市の神奈川県総合防災センター（厚木市下津古久 280）を視察いたしました。

当日は、各自治会からの防災リーダーを中心に17人が参加いたしました。

災害に備えるためには、災害について知ること、災害について考えることが大切です。

総合防災センターは、災害について知ること、考えることを目的として、防災情報・体験フロアにおいて、地震や風水害などの体験をし、防災情報の展示物について見学しました。



体験コーナーにおいては、地震体験コーナーと、風水害体験コーナーで実際の災害に慌てない為に色々な注意点について知ることができました。

最大震度 7 までの地震を3方向の揺れで再現し、東北地方太平洋沖地震（商業施設内編）においては、揺れに合わせて、臨場感のある体験を通じ、実際の災害の恐怖感と、ふいの災害に備えるべきことを深く学びました。

緊急地震速報を見たり聞いたりしたときの行動

家の中	・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。 ・あわてて外に飛び出さない。
自動車運転中	・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す。 ・あわてず緩やかに速度を落とす。 ・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止する。
電車やバス乗車中	・つり革や手すりにしっかりつかまる。
エレベーターの中	・最寄りの階で停止させて、すぐに降る。
屋外にいる時	・ブロック塀の倒壊や看板・ガラスの落下物に注意する。 ・丈夫なビルのそばなら、ビルの中に避難する。
山やがけ付近では	・落石やがけ崩れに注意する。